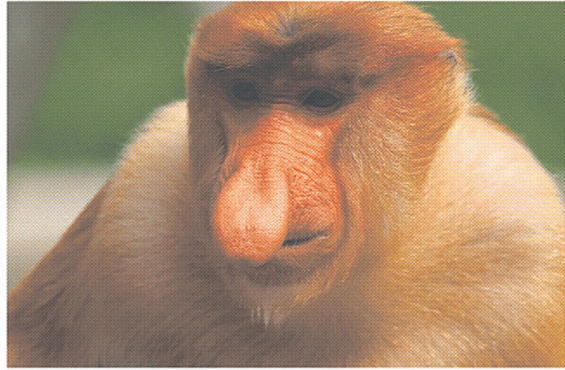


テングザルの声色 鼻の大きさに変化か



テングザルのオスの成体は鼻が発達する
— 京都大学の松田一希教授提供

大阪大学などはボルネオ島に生息するテングザルのオスが持つ大きな鼻が、独特の声色を作り出している可能性を明らかにした。この声色の違いは、仲間が個体を識別するのに役立っているかもしれない。英国王立協会誌「インターフェース（電子版）」に論文を掲載した。

よこはま動物園ズーラシア（横浜市）と、オスの成体と子どもの鼻をコンピューター断層撮影装置（CT）で撮影するなどして鳴き声を解析した。

すると従来の予想通り成長に伴って鳴き声が低くなるのに加えて、成体のオスの間でも鼻の大きさに応じて、声の一部の周波数が変わっていた。